

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度

令和3年度

1 基本情報

公の施設名	相模原市立星が丘デイサービスセンター
指定管理者名	社会福祉法人上溝緑寿会
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
施設設置条例	相模原市立高齢者デイサービスセンター条例
施設の設置目的	在宅の介護を必要とする高齢者に対し、入浴、給食その他のサービスを提供することによって、心身機能の維持向上等を図るとともに、その家族の身体的及び精神的な負担を軽減し、もって高齢者の福祉の増進に関与するため。
施設概要	高齢者が自宅から通い、入浴、食事などの日常生活の世話や機能訓練を受けられる施設 所在地：相模原市中央区星が丘4-9-1 星が丘住宅1階 延床面積：431.68㎡（機械室除く） 主な施設：作業及び日常動作訓練室、浴室、食堂、相談室、会議室、ボランティア活動室 構造：鉄筋コンクリート造 開所時間：午前8時30分から午後5時まで 休所日：日曜日及び年末年始（12月30日から1月3日まで） 定員数：25名
施設所管課	健康福祉局 地域包括ケア推進部 高齢・障害者福祉課

2 管理実績

項目（単位）	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数合計（人）	5,968	6,023	5,868	6,260	6,107	5,612	4,923
介護報酬等収入（円）			45,264,439	47,026,142	47,068,633	43,528,121	37,826,063
利用者負担金等収入（円）			9,050,716	10,721,948	10,602,420	9,984,781	9,180,356
収入総額（円）	53,674,274	53,273,995	54,355,166	58,610,612	57,808,948	54,617,448	47,620,485
支出総額（円）			54,092,035	55,616,569	57,279,244	59,638,778	62,653,754

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
D	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標の達成度は70.8%であり、評価基準により「D」と評価した。 昨年度から達成度が大幅に減少している。今後、新規利用者獲得に向けた方策を検討していただきたい。 新規利用者の開拓には、施設の特徴、強みをアピールし、ケアマネジャーを通じてPRに力を入れていただきたい。 類似の他施設と比べても達成度の減少が著しいことから、その原因については、しっかりと分析をして対応を検討されたい。

指標名（単位）	利用率（%）
指標式と指標の説明	年間利用者数 ÷ (1年間の営業日数 × 利用者定員数) ※利用者定員数に対する年間の利用割合

項目（単位：%）	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	100.0	100.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
実績値（利用率）	64.2	65.0	75.5	81.3	79.3	72.6	64.1
達成度	64.2	65.0	79.5	85.6	87.6	80.2	70.8

※制度上、定員制限があるため、実績値100%が最大値になります。実績値100%でも目標値95で割ると達成度は105%になり、評価基準上「A」評価となってしまいます。令和元年度以降は実績値100%の場合に「S」評価とするため、1.05を乗じ、達成度が110%になるように調整しています。

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施状況の達成度は105.6%であり、評価基準により「A」と評価した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、感染症対策を講じ、昨年度から大幅に実施事業数を増やしている点は評価できる。 ・地域の方に施設を提供したラジオ体操は評価できる。ぜひ継続していただきたい。 ・季節を感じられる事業を行うことで、「季節の移り変わりを実感したり、過去の思い出を振り返る」などの効果があると思うので、季節を感じられる事業を増やしていただきたい。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
—	—	—	

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
納涼祭	8月20日	施設において盆踊り、射的などの遊戯を実施。地域ボラの方々には参加をご遠慮いただき職員、利用者のみで開催。利用者20名が参加(地域の方にはお詫び分を郵送後、電話連絡を実施)	○
敬老祝賀会	9月16～22日	施設において敬老祝辞や記念品の贈呈、集合写真撮影を行う。記念品の紅白饅頭については地域の和菓子屋に発注。期間中、延べ利用者98名が参加	○
運動会	10月7～13日	星リンピック(運動会)を施設において開催。パン取り競争、大玉転がし、応援合戦、鈴割りなどの競技へ参加。期間中、延べ利用者99名が参加	○
出張握り寿司	11月6,26日	寿司職人による出張寿司を開催。昼食前から握り始め昼食として新鮮な江戸前寿司を提供する。2日間で利用者31名が参加。寿司職人2名	○
年忘れ演芸会	12月16～22日	職員によるトーンチャイム演奏会やクリスマスゲームなどに参加していただく。期間中、延べ利用者97名が参加	○
季節湯 (①菖蒲湯②ゆず湯)	①5月3～8日 ②12月20～25日	①一般浴槽、機械浴槽の菖蒲湯を提供。計6日間実施し延べ利用者84名に提供 ②地域の方からの寄付のゆずを使用し一般浴槽、機械浴槽のゆず湯を提供。計6日間実施し延べ利用者96名に提供	○
軽食創作活動 (①どらやき②蒸しケーキ)	①5月27日～6月2日 ②11月11～17日	①利用者が中心となり『どらやき』作りを行う。日替わりで中に挟む餡を『あんこ』『クリーム』『フルーツ』などの中からご自身で選び茶話会にて召し上がっていただく。計6日間で延べ利用者101名が参加 ②施設において『蒸しケーキ』を創作。生地からの創作で、順番に生地を混ぜていただき利用者全員で取り組む。期間中、延べ利用者96名が参加	○
機能訓練外出 (①紫陽花②新年初詣③梅④桜)	①6月19～25日 ②1月20～26日 ③3月10～16日 ④3月31日	①麻溝公園、相模原北公園へ外出。公園散策と同時に紫陽花を見学。計6日間で利用者36名が参加 ②亀が池八幡宮内を参拝。期間中、利用者33名が参加 ③近隣の梅畑を徒歩で外出。期間中利用者32名が参加 ④上溝本町の桜見学を実施。桜や蔵の見学など庭園内を散策。利用者6名が参加	○

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
ラジオ体操	平日	平日の朝8:30～のラジオ体操の場の提供を行う。 実施日数:176日 延べ参加者:1,208名 ※日数、人数のカウントは令和3年7月～集計	◎

※施設の設置目的に即して利用者のための活動を適切に実施していれば「○」、その中で、特に市立施設であるという特性を鑑み、地域住民が参加できる多世代間交流や地域活動の促進に繋がる事業については、広がりのある取組として評価し「◎」と評価する。

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の満足度の達成度は101.5%であり、評価基準により「A」と評価した。 ・実績値(満足度)は目標値を超えているものの、有効回答数の影響もあり昨年度から数値は減少している。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	法人独自の無記名アンケートを期間中実績のある利用者52人に配布し、回収は47人(回収率90.3%)。実績値(満足度)はアンケート内の「事業所のサービス全体への満足度」に関する設問に対する「全体的にとても満足である」、「全体的に満足である」の無回答を除いた有効回答数における合計の割合
目標値の基準	令和2年度に実施した本市の高齢者等実態調査における、デイサービスを含む居宅介護サービスへの満足度の設問に対する「満足」、「おおむね満足」の合計の割合

項目（単位：％）	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	77.0	89.8	89.8	89.8	89.8	89.1	89.1
実績値（満足度）	80.0	97.6	100.0	100.0	90.2	92.5	90.5
達成度	103.9	108.7	111.4	111.4	100.5	103.8	101.5

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
意見箱の設置	通年	デイサービス正面玄関内に意見箱を設置し、地域住民、利用者より意見を受け付けている。

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
C	<ul style="list-style-type: none"> ・経営状況に若干の懸念があり、施設の全体収支、事業収支ともに支出が収入を上回っているため、評価基準により「C」と評価した。 ・市立施設として、拠点区分間における収支が全体収支に大きく影響しないよう検討していただきたい。 ・利用者の減少が収支にも影響していると思われる。利用者が減っている中、介護報酬は減っていますが、逆に人件費は増えています。収支のバランスなどを検討していただきたい。

施設の収支概要		※直近3年間について記載		
		(千円)		
項目		令和元年度	令和2年度	令和3年度
収入 (a)		57,809	54,439	47,531
	介護報酬等	47,069	43,528	37,826
	利用者負担金等	10,602	9,985	9,180
	その他	138	926	525
支出 (b)		53,783	56,957	58,630
	人件費	34,150	36,100	39,559
	事業費	8,450	10,756	10,984
	事務費	11,183	10,101	8,086
	その他	0	0	1
本体事業収支 [(a)-(b)] (c)		4,026	-2,518	-11,099
自主事業収入 (d)		0	0	0
自主事業支出 (e)		0	0	0
自主事業収支 [(d)-(e)] (f)		0	0	0
事業活動収支 [(c)+(f)] (g)		4,026	-2,518	-11,099
施設整備等収入 (h)		0	179	0
施設整備等支出 (i)		261	444	523
施設整備等収支 [(h)+(i)] (j)		-261	-265	-523
その他収入 (k)		0	0	89
その他支出 (l)		3,235	2,237	3,501
その他収支 [(h)+(i)] (m)		-3,235	-2,237	-3,412
全体収支 [(g)+(j)+(m)] (n)		530	-5,020	-15,034
備考	▽前年度との比較 ・収入の大幅な減はコロナ禍における利用者数減によるもの。 ・人件費の増は育休職員復帰によるもの。 ・その他支出増は拠点区分間における事務職員負担増によるもの。 ▽コロナ対策事業補助金 ・収入(その他)に381,568円含まれます。			

団体の財務状況	団体本体の経営状況について若干の懸念がある。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施
実施時期	令和4年3月

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	×
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	×
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	×
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	×
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	×
その他取り組んでいること	

9 指定管理者の自己評価

・対前年度比で延べ利用者数700名弱の減少、一日の平均利用者数2.2名の減少となっている。中重度比についても更新の延長により適正な要介護認定が得られず若干の減少。新規受け入れ利用者数16名に対し終了者21名、前年度と比較し終了者は横ばいであるが、新規受け入れ利用者数がマイナス5名と新規受け入れ数の減少が収入減の大きな要因となっています。また、派遣職員の採用などで人件費上昇がさらに支出面での負担増となっており、マイナス経営となっていると考えています。

・前年度に引き続き新型コロナウイルス感染予防を考慮して、外出行事の中止や、ボランティアをはじめとした地域交流を行うことができない状況での運営を継続した1年となりました。一部機能訓練外出などの外出系の活動については、長期間の自粛生活によるADLの低下や認知症の進行が顕著に表面化し再開していますが、活動時には感染者の発生を心配しながらの再開となりました。

・今後に向けては感染症対策を継続しながら、新規利用者を安定的に確保すること。複数回利用を無理なく勧める。稼働率の向上と在宅生活支援を行っていくことが目標です。認知症ケアプログラム等のさらなる充実を図り経営改善に努めます。

10 所管課意見

・利用者数の増加に向けては、HPを更新するなど他施設の取組も参考にしていきたい。

・認知症ケアプログラムの実施は評価できる。引き続き、認知症ケアプログラムの実施数増加に取り組み、利用者確保に繋げていただきたい。

・利用者満足度調査において、昨年度に引き続き「事業所のサービス全体への満足度」に関する設問に対し、「3.全体的に満足しているが、一部改善してほしい点がある」を選択された方がいるため、次期指定管理期間に向け、原因を究明し、改善に努めていただきたい。

11 選考委員会意見

・新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、昨年度に引き続きデイサービスの運営に苦勞した1年だったと考える。利用者の健康維持、安全を確保しながら施設運営を継続していただいたことには感謝したい。

・このような状況の中、感染防止対策を実施した上で事業の実施数を以前のレベルまで戻していることについては評価できる。

・利用者数の低下が顕著にみられる。新型コロナウイルス感染症や利用者の施設入所、入院等の影響もあるようだが、今一度利用者確保に向けた取組について検討し、積極的なPRを実施していただきたい。またこの状況に慣れることなく、利用者数が戻ってきた時に質の高いサービスができるよう職員の人材育成を継続していただきたい。

・利用者満足度調査は、法人の自己評価だけでは汲み取れない意見もあると考えられるので、引き続き第三者評価を検討していただきたい。また、意見箱への意見や反映状況について次年度以降は報告していただきたい。

・HPのウェブアクセシビリティの積極的な取組をお願いしたい。

・職員への研修を毎月実施しており、人材育成について評価できる。今後、研修内容に、社会福祉法の改正に伴い「地域共生社会」、「包括的支援体制の構築」なども加えることを検討いただきたい。

総合評価（自動判定）

C

(50/100)

